



碧南ロータリークラブ週報

第2769回例会 平成28年3月9日(水)

- 会長 山中 寛紀
- 幹事 新美 雅浩
- 会場監督(SAA) 杉浦 栄次

2015-2016 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内
TEL<0566>41-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 例会場 碧南商工会議所ホール
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
FAX<0566>48-1100



世界へのプレゼントになろう

- 会報委員 藤関孝典・杉浦秀延・八馬宜久

●斉 唱

ロータリーソング「我等の生業」

●本日のお弁当

衣浦グランドホテル

●本日のお客様

専興寺 住職 浅野 怜様

会 長 挨 拶

3月6日の日曜日に第43回碧南市民駅伝が開催されました。当日は雨という天気予報でしたが、何とか雨も降らずにすみ良かったと思っております。例年に比べますと少し気温の高い天気でしたので、選手として出られた方は大変だったと思います。当クラブの会員の多くの皆様にも選手や役員、あるいは色々な立場で参加されたと思いますが、本当にご苦勞様でございました。



山中寛紀会長

さて、先週の木曜日の3月3日の雛祭りの日ですが、地区審議会というものがございました。本日、入り口で皆さんに資料をお配りしましたが、ざっと読んでも正直何なのか理解できないのではと存じます。正直私も当日会場で近藤直前ガバナーの説明を聞いて初めてわかりました。

その内容は、簡単に申し上げれば以下の通りです。

ガバナーは自分の年度に行った事業全てに関わる資金の収支明細について、ガバナー年度終了後3カ月以内にRIに正式文書として報告せねばならないというものです。これまで地区における財務管理は適正に行われてきており、このような縛りを受けるのは今回初めてのことだそうです。これは憶測ですが、どこか我が国以外の地区のガバナーさんが何かやったのではないかと思います。

そして、この財務明細を今後適正に行うためには、新たに地区で資格を備えた会計士あるいは地区監査委員会のいずれかによる検査すなわち監査を受けなければならないと定められているそうです。

従って、地区ではこの監査については1名の会計士の資格を持つ地区内会員を推挙し、今後地区大会の場でこの財務に関する決議を地区内クラブの代表から受けるようにする承認を頂くための決議を諮る必要があります、本日この会を開催したとの説明でした。

この近藤直前ガバナーの説明の後、加藤ガバナーが議長となり拍手多数でこの件が決定されました。

尚、ここで採択された新たな地区の監査役としては名古屋瑞穂ロータリークラブの会員であり、元同クラブ会長や分区のガバナー補佐のご経験もある、会計士の森恒夫氏が就任され、加藤ガバナー年度からの3年間の監査を務められることとなりました。

そしてもう1つ大事なことで田嶋パストガバナーが報告事項としてお話された件は、非常に深刻な問題にもなりかねないことがございましたので、このことにつきましては来週の例会の冒頭にご説明させて頂きたいと思っております。

本日はこの財務報告についての決議をしたという審議会の1つの大きな採択について皆さんにご報告させて頂きまして冒頭の挨拶とさせて頂きます。

本日の例会もどうかよろしくお願い致します。

幹 事 報 告

幹事報告させて頂きます。

- お手元の幹事報告書に先回の理事会のご報告と例会変更等のお知らせが載っておりますので、お目をお通しください。
- 会員の渡部哲也さんからご異動で退会届が出ております。3月末で退会されまして、後任の方につきましては、お手元の資料で入会候補者についてのご案内を差し上げておりますけれども、理事会で承認されました方のご案内をさせて頂いております。3月16日までにご異議のある方は申し出を頂きたいと思っております。申し出がなければ承認されたものと致しまして、4月からご入会して頂く運びで進めて参りたいと思っております。よろしくお願い致します。



新美雅浩幹事

委 員 会 報 告

<出席奨励委員会>

総会員数 71 名 (内出席免除者 17 名の内出席者 12 名)出席者 60 名	
出席対象者 60/66 名	出席率 90.91%
欠席者 11 名(病欠者 0 名)	前々回修正出席率 100%

※六週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

<ニコボックス委員会>

榊原 健君 3月5. 6日、第43回碧南市民駅伝が開催され、無事終了致しました。ロータリークラブからも御後援戴き、ありがとうございました。当日は山中会長、鈴木並生交通安全協会会長も開会式に出席をして戴きました。佐藤塩釜市長のスターターで開始され、天気にもめぐまれて行うことが出来ました。

佐藤塩釜市長の歓迎レセプションには、衣浦グランドホテルの奥津総支配人には御協力戴きありがとうございました。又、権現町への5のクサイにお住まいの「真心のバイニン」にはファミリーでの応援ありがとうございました。

清澤 聡之君 専興寺 浅野住職、よくお越し下さいました。宜しく申し上げます。

杉浦 栄次君 損害保険の試験に合格しました。代理店が続けられそうです。

鈴木 泰博君 本日の卓話の講師、浅野怜様をご紹介します。

奥津 順司君 中日新聞、中部経済新聞に好意的な記事掲載をいただきました。

卓 話

「愚痴と念仏」

専興寺 住職 浅野 怜様



浅野 怜様

只今ご紹介頂きました専興寺住職をしております浅野でございます。専興寺は明石公園のすぐ東にある寺でございます、慶長9年(1604年)に創建でございます、現在412年ほど経っております。よく「何代目ですか」と聞かれるのですが、途中に火災があったりなどして、全てが消滅してしましましてわからなくなっております。私で大体13代目ではないかと推測しております。

本日は素晴らしい会にお招き頂きまして緊張しております。やわらかくお話をとおっしゃられておりますが、立場上どうもかたくなるのではないかと思いますけれども、精一杯頑張ってみたくと思っております。

本日は「愚痴と念仏」ということで時間の関係で、できるだけ簡潔に話をさせていただきます。

私たちには生活の中で、忘れていい事と忘れてはならない事がありますが、忘れていい事は「五つ」と言われています。「うらみ・つらみ・ねたみ・そねみ・ひがみ」で、これを「五み」と言っておられる方がおりますが、こういうものはできるだけ早く忘れた方がいいと言われています。

1. うらみ (恨み・怨み) … ひどい仕打ちに、怒りや憎しみや不満などの気持ちを持つこと。
2. つらみ (辛み) … つらい思い・苦しいこと。
3. ねたみ (妬み) … 他人の長所・幸運などをうらやんで、憎らしいと思うこと。
4. そねみ (嫉み) … 他人の自分より優れたことをうらやみにくむこと。

5. ひがみ（僻み）… 物事を素直に受け取らずに、自分だけが不当に扱われていると思
い込むこと。

ここで私たちが常に頭におくことは大体「うらみ」や「ひがみ」が多いと思いますが、その
うちの1つ「うらみ」について話をさせていただきます。

お釈迦様のおことばの中に

「怨みに報いるに、恨みを持ってすれば、永遠に怨みは尽きることなし」〔法句経〕

ということをおっしゃっております。世の中の全ての人に好かれる人間なんていません。そ
れを「怨憎会苦」と言って、この世には、怨み憎むものと会わなければならない苦しみもあ
るのです。ですから、「相手を怨まず楽しく生きる」よう心掛けたいというのが私たちの願い
であると思います。

「中国の教え」に、つぎのようなことばがあります。

「怨みに報いるに、徳を以ってせよ」

徳というのは、善や正義を貫く人のことを言うわけですので、怨みを報いるにはそういう心
掛けで接したいということだと思えます。

私たちはなかなか「五み」が忘れられないのですが、これが益々忘れないということになり
ますとどんどん心が汚れていきます。それを「濁心」と言いますが、これも「五濁心」と
いうことばがありまして、「イライラ・コセコセ・クヨクヨ・ブリブリ・ネチネチ」でありま
す。

1. イライラ … 思い通りにならず、あせって感情が高ぶるさま。
2. コセコセ … 気持ちにゆとりがなく、ささいなことにこだわって落ち着かないさま。
3. クヨクヨ … 小さなことにこだわって、いつまでも思い悩むさま。
4. ブリブリ … 腹を立てて機嫌の悪いさま。
5. ネチネチ … 不快にしつこくねばりつくさま。

こういうような「五濁心」というものがありますが、こういうものが私たちの口から出てく
ることばは「文句や愚痴」ばかりになります。ある有名な言語学者が、人間は1日にどれく
らい喋るかを研究されたところ、個人差はありますが平均2万語は喋るそうです。そのうち8
割が文句や愚痴だそうです。私たちがそんなことを言っているのかなと思うのですが、
色んな場でそういうことがあるのかなという気がします。1

話は大きくなりますけども、その愚痴ということをお話したいと思って紐解いていく訳で
すが、私たちの悩みの中における「煩惱」があります。煩惱とは、心を悩まし惑わせ、身を
煩わす精神作用の総称で、人間はこの汚れた心（惑う心）によって、悪い行為（悪業）をな
し、苦しみ（苦果）を招いて、迷いの世界を離れることができないこと煩惱と言います。仏
教の目的は、この煩惱を断じてさとりを得ることにあります。煩惱はご存知のように108ご
ざいます。細かく分ければ8万4千とも言われていますが、108というふうを受け止めてい
いかと思います。何が1番108で身近に感じるかという「除夜の鐘」でございます。108
の煩惱を、鐘を撞く事によって振り払って、そして新しい年を迎えるということございま
す。

その煩惱の中で、私たちの根本的な正しい生き方、教えを頂くのに障害となる「三毒の煩

悩」というのがございまして「食欲・瞋恚・愚痴」と言われるものです。

食欲 … 極めて欲が深いこと。

瞋恚 … 激しく怒り憎むこと。

愚痴 … 言っても仕方がないことを言っただけのこと。

(癡) (おろかにして、物事の道理がわきまえられないこと)

そこで、愚痴に対してこんな名句を読まれた方がいらっしゃいました。

「有難や 愚痴より先の お念仏」

愚痴をいつまで言っただけでも仕方がないが、お念仏によって自分の愚かさを認識した上で、1歩でも2歩でもハードルを越していく、そういう力を頂くというふうに受け止めております。

予定時間になりましたのでこれで終わりにしたいと思います。本日のメインは、私たちはどうしても愚痴が出ますけども、愚痴ばかり言っているのではなくて、事実からその愚痴が出てくる根底が何であるのかを十分に受け止めて、そこから1歩でも2歩でも前に進んでいく力を念仏によって頂けたらという思いがする訳でございます。

大変ご無礼しました。

次回例会案内

平成28年3月23日(水)

卓話「雅楽楽器 鳳笙とは」 雅楽楽器師 久松 誠氏